

国産材・地域材の利用促進のために今できること

新技術は日本の森林・木材産業を救えるか？

国産材の利用促進が林業・林産業復活のために欠かせないが、住宅着工件数が減少する中、既存の市場拡大は期待できない。現在、住宅産業において使用されている木材・木材製品の半分以上は、外国から輸入され、供給ルートが確立された中で流通している。その流通機構に国産材が割って入ることが最大の解決策であるが、この仕組みを短期間に変えることは容易ではない。そこで、高層建築物や大空間構造を有する公共建築物などに、国産材の新たな需要を開拓し、付随して排出される残材や端材をバイオリファイナリー技術を用いて新材料を創出したり、エネルギー変換してカスケード利用することで、林産業を新技術により成長産業化させることが強く望まれている。本シンポジウムでは、国産材・地域材の利用促進のために、今やらなければいけないことは何か、を考えたい。

日時・会場

2016/ **3/28** (開場 14:10) 14:30 17:00

**名古屋大学
豊田講堂**

参加無料・申込不要

プログラム

◆ 第 1 部 講演 ————— 14:30 ~ 15:50

〒 464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
地下鉄名城線名古屋大学駅下車、出口 2 よりすぐ

林業の成長産業化と地方創生

— 国産材の需要拡大に向けて —

林野庁次長 **沖 修司氏**

地方創成最前線

— 秋田県立大学木材高度加工研究所の取組み —

秋田県立大学 木材高度加工研究所長 **林 知行氏**



地方創生へ貢献する新しいバイオリファイナリー産業の創出

森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 木材化学研究室長 **山田 竜彦氏**

◆ 第 2 部 パネルディスカッション ————— 16:00 ~ 17:00

司会



沖 修司氏
林野庁次長



林 知行氏
秋田県立大学
木材高度加工研究所長



山田 竜彦氏
森林総合研究所
バイオマス化学研究領域
木材化学研究室長



福島 和彦氏
名古屋大学教授
日本木材学会副会長
NPO法人才の木理事長



関 雅子氏
国立研究開発法人
産業技術総合研究所
研究員